

平成 30 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果の概要について

水質汚濁防止法の規定に基づき、県、国土交通省及び金沢市が平成 30 年度に実施した公共用水域及び地下水の水質測定の結果の概要は、次のとおりである。

1 公共用水域の水質測定

(1) 水域及び測定地点数

水 域	水域数	測定地点数			
		県	国土交通省	金沢市	計
河 川	4 9	1 0 1	6	4 5	1 5 2
湖 沼	3	8	—	—	8
海 域	1 1	3 2	—	6	3 8
計	6 3	1 4 1	6	5 1	1 9 8

(2) 環境基準の達成状況

- ① 人の健康の保護に関する環境基準（カドミウムなど 27 項目）
6 3 水域中 3 6 水域を測定した結果、全ての水域で達成

- ② 生活環境の保全に関する環境基準（BOD、COD など 9 項目）

ア BOD 又は COD（有機物による汚濁の程度を表す指標）

- (ア) 河川（BOD） 4 9 水域中 4 7 水域が達成（達成率 9 6 %）
 (イ) 湖沼（COD） 3 水域全てが基準を超過（達成率 0 %）
 (ウ) 海域（COD） 1 1 水域全てが基準を達成（達成率 1 0 0 %）

湖沼 3 水域の COD（年平均値）の推移

湖 沼	これまでの最高値	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度
河 北 潟	H 6 年度 8.9 mg/L	6.1 mg/L	5.5 mg/L	5.2 mg/L
木 場 潟	H 2 年度 11 mg/L	6.6 mg/L	6.4 mg/L	6.5 mg/L
柴 山 潟	H 6 年度 7.7 mg/L	5.6 mg/L	5.6 mg/L	5.3 mg/L

イ 全窒素及び全リン

（閉鎖性水域における植物プランクトン増殖の指標）

- (ア) 湖沼 全窒素及び全リンとも 3 水域全てが基準超過
（達成率 0 %）
 (イ) 海域 全窒素及び全リンとも 2 水域全てが達成
（達成率 1 0 0 %）

2 地下水の水質測定

(1) 概況調査

県内の地下水質の概況を把握するため、居住地域の75井戸(県68、金沢市7井戸)で、環境基準が定められている有害物質28項目を調査
(井戸数)

区 分 項 目		調査 井戸	環境基準を達成		環境基準を 超 過
			不検出	環境基準 以下で検出	
自然界に存在 する物質	カドミウム	75	72	3	0
	ヒ素		71	3	1
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		10	65	0
	フッ素		50	24	1
	ホウ素		69	5	1
	その他4項目		75	0	0
自然界に存在 しない物質	テトラクロロエチレン	75	74	1	0
	その他18項目		75	0	0
合 計 (28項目)		75	72		3

(2) 汚染井戸周辺地区調査

「(1) 概況調査」で基準を超過した井戸等周辺での地下水質を調査
(井戸数)

区 分 項 目		調査 井戸	環境基準を達成		環境基準を 超 過
			不検出	環境基準 以下で検出	
自然界に存在 する物質	ヒ素	3	0	1	2
	フッ素	4	4	0	0
自然界に存在 しない物質	テトラクロロエチレン	7	3	4	0
	その他8項目		7	0	0
合 計		14	12		2

(3) 定期モニタリング調査

昨年度までの「(1) 概況調査」や「(2) 汚染井戸周辺地区調査」で過去に地下水汚染が確認された井戸の状況を継続的に監視・調査
(井戸数)

区 分 項 目		調査井戸	環境基準を達成		環境基準を 超 過
			不検出	環境基準 以下で検出	
自然界に存在 する物質	ヒ素	23 (23)	2 (3)	5 (4)	16 (16)
	フッ素	5 (5)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
	ホウ素	2 (3)	0 (0)	1 (2)	1 (1)
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3 (3)	0 (0)	2 (3)	1 (0)
自然界に存在 しない物質	揮発性有機塩素化合物 (トリクロロエチレン等の10項目)	76 (72)	5 (5)	66 (62)	5 (5)
合 計		109 (106)	81 (79)		28 (27)

注 括弧内の数値は、平成29年度調査の井戸数